

2018/8/21 (火) ~23 (木)

—〈畑クラブ 号外〉—

信州・飯綱高原にトマトジュース用のトマト収穫に行ってきました



生活クラブのトマトジュースはストレート・シーズンパックです

生活クラブのトマトジュースは、安価な輸入ペーストに水分を足して還元した濃縮還元でなく、収穫したトマトをジュースにしてすぐ缶に詰めたもの（食塩無添加もあります）。1972年から安いトマトペースト・ピューレの輸入が自由化され、国産加工用トマトの生産は激減しました。

生活クラブは、私たちが食べる物は、出来るだけ国内産を追求していて、トマトジュースも原料トマトは国内産をめざしています。でも、買い取り価格が安く、専業ではなかなか成り立たない、定植や収穫が短期集中して農家だけではこなしきれないなどで、生産農家を増やすのは難しい状況。ですが、生活クラブでは提携産地を広げる努力をしています。



行先は、長野県北西部の飯綱（いいづな）高原

大阪梅田に朝7:20集合。  
都市生活、生活クラブ大阪、  
同奈良、滋賀、京都エル・コー  
プ、エスコープ大阪 の6つの  
関西の生活クラブ生協から組  
合員が集合。総勢24人。



山々が美しい！都市生活組合員が作業したトマト畑。で、トマトは…どこ？



計画的労働参加（←ちょっとふるめかしい名称ですね）

カタログのトマトジュースの説明文で“原料の一部は組合員が計画的労働参加で収穫したもの”との記載がありますが、それはこの取り組みのこと。体験型の「援農」ではなく、「労働」です。8月の収穫は首都圏と関西の生活クラブと生活クラブ長野の組合員が3回に分けて115人が労働参加。5月の定植（苗の植え付け）には首都圏の組合が参加。この活動は1995年から続いているんだそうです。



私たちは、「生産する消費者」

少額ながら「労賃」がきちんと農家から支払われ、交通費や宿泊費などの経費は、1缶に1円価格にプラスして、間接的に組合員みんなが生産に関わる形を取っています。実際に定植や収穫に参加し、まさに生産に関わる消費者です。



稲わらをどければ、真っ赤なトマトが！



畝には除草のため、  
黒いマルチでカバーしてあります。







## 真っ赤なトマトを収穫します

みなさんがご存じのトマト畑とは随分様子が違うでしょ。買い取り価格が安いので、手間はかけられず、支柱は立てずに、除草のために黒いマルチをかけ、地面にそのまま這わせてトマトを作ります。強い日差しからトマトを守るため、自家製の稲わらをかぶせて日焼けを防いでいます。



今年は雨が降らずに早魃で、収量は例年の半分位だとか…。(>\_<) 黒く傷んでいる物も多かった。

完熟したものを収穫します。ヘタも取ります。

もちろん厳しい生活クラブの栽培基準に沿って作られています。



この農家のトマト畑は、段々状に5枚あり、実が大きいけど割れやすいもの、中玉くらい、小玉で皮が硬い物の3種類の加工用トマトを作付してありました。

黒姫山

妙高山

斑尾山



収穫したトマトは、すぐに工場に運びます。搬入後、2時間で、缶ジュースになります。

フレッシュで価値あるトマトジュースは飲むだけでなく、シューやミートソースなど料理にも便利で美味しい。

かがむ作業もナンノソノ。畑クラブで草取りして慣れてるかな？

年齢詐称気味のイラスト…



毎年8月20日頃 2泊3日で企画 いつもなら、日中 29℃位らしいのに、今年は、高原といえども 34℃にもなったようでとても暑かったです。でも夜は涼しい。毎年、5月ころ、機関紙「都市生活」で参加者を募集しています。暑さに強い人、土いじりが好きな人、どうぞ参加してみてください。景色がきれいだし楽しいですよ！

(大沼 記)